

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年8月21日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 先週、先々週と「夏のゆう活」ということで、ブリーフィングと定例の記者会見、お休みをさせていただいておりましたが、今週から通常どおりのスケジュールになります。改めてよろしくお願いたします。

それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

まず、1. (1) 第23回原子力規制委員会定例会が明日8月22日水曜日の午前中に開催されます。

議題は6件予定されてございます。順次、補足して御説明いたします。

まず、議題1「『第5次エネルギー基本計画』について」。こちらは、本年7月3日に「第5次エネルギー基本計画」が政府として閣議決定をされたところでございます。こちらの内容につきまして、経済産業省・資源エネルギー庁から概要をお聞きするというものでございます。

次に、議題2「特定復興再生拠点区域における放射線防護対策に関する協力依頼について」。こちらは、原子力災害対策本部・原子力被災者生活支援チームから御説明をお聞きする案件でございます。

内容は、帰還困難区域の特定復興再生拠点区域に関しまして、今後、立ち入り規制の緩和や避難指示解除が想定されてくるということでございまして、それに向けた放射線防護対策について、政府として検討を開始されるということが予定されているということとあります。そうした政府として検討を開始しますということについて、先ほど申しました被災者生活支援チームのほうから原子力規制委員会に対して御説明があるというものでございます。

次に、議題3「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の廃棄物管理事業変更許可について」。こちらは、先般、この議題の本件、大洗研究所の廃棄物管理事業変更許可について、審査結果の案を委員会において取りまとめまして、経済産業大臣に意見照会を行っていたところですが、その回答を踏まえまして、許可を行うことについて委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、議題4「燃料集合体チャンネルボックス上部（クリップ）の一部欠損に係る対応

状況について及び原子力施設における過去の事故・トラブルへの対応状況について」。こちらは、平成24年7月になりますが、東北電力の女川原子力発電所3号機におきまして、燃料集合体のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損があるということが確認されたという事案がございました。

また、ほかのプラントでも類似の事象が確認されたということ踏まえまして、BWR設置者に対しまして燃料集合体の確認を行うよう指示をしていたところでございます。これにつきまして、今般、調査結果が出そろいましたところ、その全体の状況、また、今後の対応について、委員会に御報告し、お諮りをするというものでございます。

また、あわせまして、これまでの事故・トラブルへの対応状況の全般について、現時点での対応状況を整理して委員会に御報告をするということもあわせて行う予定でございませう。

次に、議題5「平成30年度第1四半期の保安検査の実施状況等について」。こちらは定例で報告をしているものでございますが、平成30年度第1回の保安検査の実施状況について、御報告をするものでございます。

最後に、議題6「安全研究の事後評価結果（案）について」。こちらは平成29年度に終了した安全研究プロジェクトにつきまして、事後評価を行ったところ、その事後評価の結果の案について、委員会に御報告をし、お諮りをするというものでございます。

次に、1ページ目、1.の(3)、1ページ目の下段でございませう。第25回の原子力規制委員会臨時会議を、こちらは来週8月29日水曜日の午後1時から2時半にかけて開催する予定でございませう。定例の原子力規制委員会を午前中に開催した後に、午後に臨時会が予定されているということございませう。

こちらは、議題にございませう原子力規制委員会と電源開発株式会社経営層による意見交換を議題として予定しております。原子力事業者の経営責任者に御出席をいただき、意見交換を行うということを行っておりますが、その一環といたしまして、今回、電源開発株式会社の経営層にお越しをいただくと。社長、副社長が御出席の予定でございませう。お越しをいただき、幅広く意見交換を行うというものでございませう。

続きまして、広報日程の2ページ目中段になります。8月23日木曜日、(3)第614回の審査会合についてでございます。こちらは、審査の対象の議題といたしまして1件予定されてございませう。日本原電株式会社・東海第二原子力発電所の工事計画認可についての審査を予定しております。

内容といたしましては、工事計画認可に係る論点を順次議論してきておりますが、その論点についてのコメントへの回答を予定してございませう。順次、論点について審査・議論を行ってきておりますが、これまでにコメントがあった点については、今回、8月23日の会合での回答で一応回答が終わるということが見込まれているという状況でございませう。

次に、その下、8月24日金曜日、(4)第615回の審査会合でございませう。こちらは地震・

津波関係の審査会合でございますが、議題は2件予定されております。

まず、1件目といたしまして、記載のとおり、中部電力・浜岡原子力発電所の津波影響評価ということで、こちらはプレート間地震による津波についての評価について議論が行われる予定でございます。

次に、議題の2件目といたしまして、こちらも記載のとおり、電源開発株式会社・大間原子力発電所の敷地の地質・地質構造についてということで、敷地内断層についての審査が行われる予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

あすの規制委員会の議題1と2について伺いたいのですが、「第5次エネルギー基本計画」についてエネ庁からの説明を受けるということで、その後の何か意見交換というのはあるのですか。

○大熊総務課長 こちらは説明をお聞きするということでして、当然、御説明をいただくわけですから、質疑がある可能性は十分あると思いますが、特に意見交換という目的ではございません。

○記者 それから、議題2ですけれども、特定復興再生拠点区域で、今後、御指摘のとおり、緩和・解除等があるとは思いますが、そのときに、放射線防護についてどのような方法で防護をしていくかということに対策チームから説明を受けるということですか。

○大熊総務課長 お聞きしている範囲で申し上げますと、そうした緩和、あるいは避難指示解除に向けた防護対策について、政府として検討を行っていきますという、内容というよりは、検討を行っていくということについて御説明があるというふうにお聞きしています。

御質問とそれるかもしれませんが、少し補足すると、そうした御説明の上で、検討を政府として行っていくということですが、今後、必要に応じて原子力規制委員会にも科学的観点からのコメントなどをいただきたいといったような趣旨の協力の要請といったことがあるのではないかと聞いたことを仄聞しておりますけれども、ちょっと済みません、先走って申し上げ過ぎているかもしれません。あしたの議論でどのようなお話があるかは、ぜひお聞きいただきたいと思います。

○記者 最後にしますが、臨時会議ですね、29日、電源開発ですが、電源開発のほうから何か資料提示というのはある予定でしょうか。あるいはもうあったのでしょうか。

- 大熊総務課長 資料に基づいて、大体いつもそうですので、御説明があると思います。
今、そうしたやり取りを面談という形でやっているところかと思いますが、今聞いている範囲では、安全対策全般について御説明があり、全般的に幅広く意見交換が行われるのではないかとこのように承知をしております。
- 記者 済みません。ありがとうございました。
- 司会 ほか、ございますでしょうか。ドイツさん。
- 記者 電気新聞、ドイツです。
今のヨシノさんの質問に関連して、そもそもなのですけれども、この臨時会議にJ-POWERの経営層が来られることというのは初めてではないかと思うのですが、これはどうでしょうか。
- 大熊総務課長 御指摘のとおりで、このCEOとの意見交換ですね、順次、原子力事業者と行っていますが、電源開発株式会社がお越しになるのは初めてでございます。
- 記者 なぜ今回呼ぶことになったかとか、こういう会合を持つことになったかというところの理由がありましたら、教えてください。
- 大熊総務課長 理由といいますか、経緯といたしましては、今年の春になりますでしょうか、私どもの長官と副社長と面談した際に、そうした経営層との意見交換というものを行ってありますがと。それに参加を希望されますかというようなことをお聞きして、希望されるというお答えがあったというようなやり取りがあったようでございまして、それがきっかけで今回行うことになったということでございます。
- 記者 ありがとうございます。
- 司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。
それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—